

平成28年3月14日

比叡山を中心に京都の八瀬と坂本、びわ湖をつなぐ観光ルートをPR

「山と水と光の廻廊<比叡山・びわ湖>」ラッピング電車を 平成28年3月19日（土）から大津線で運転します

～「山と水と光の廻廊<比叡山・びわ湖>」内の乗り物や名所の写真でダイナミックにデザイン～

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区、社長：加藤好文）では、平成28年3月19日（土）から比叡山・びわ湖エリアの観光PRの一環として、「山と水と光の廻廊<比叡山・びわ湖>ラッピング電車」を大津線で運転します。

当社グループでは、平成27年度より中期経営計画「創生果敢」（2015～2017年度）の主軸戦略の一つに「観光創造」を掲げており、比叡山からびわ湖、京都、宇治を経て水の都大阪に至る「水の路」を観光ルートとして、コンテンツの創造や人の流れの創出を目指しています。中でも、比叡山を中心に京都の八瀬と坂本、びわ湖をつなぐ観光ルートを「山と水と光の廻廊<比叡山・びわ湖>」と名付け、京都と滋賀を回遊できる「水の路」の一部として観光活性化を図っています。当観光ルート内には、平成6年にユネスコ世界文化遺産に登録された「比叡山延暦寺」があり、平成27年4月には、当観光ルートの大部分である比叡山・びわ湖エリアが文化庁から「日本遺産『琵琶湖とその水辺景観－祈りと暮らしの水遺産』」として認定されました。

今回、この「山と水と光の廻廊<比叡山・びわ湖>」内の乗り物や名所の写真でダイナミックにデザインしたラッピング電車を大津線で運転し、さらなる観光ルートPRに取り組みます。詳細は別紙のとおりです。



▲ラッピング電車（イメージ）

(別 紙)

「山と水と光の廻廊<比叡山・びわ湖>」ラッピング電車運転について

(1) 運転期間

平成28年3月19日(土)から当面の間

(2) 運転区間

石山坂本線(石山寺駅～坂本駅)

(3) 使用車両

600形1編成(609-610号車)

(4) デザインコンセプト

京都の八瀬から比叡山頂、比叡山延暦寺、坂本、びわ湖へと順につながるイメージで各エリアの乗り物や名所の季節感ある写真でダイナミックにレイアウトしています。

以 上